

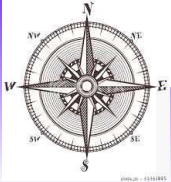
手をたずさえて

自ら学ぶ生徒
正しく行動する生徒
健康でたくましい生徒

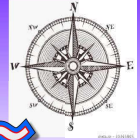


令和2年3月23日(月)発行

【発行責任者】郡山市立富田中学校長 熊坂 洋



進級おめでとうございます!

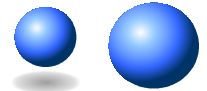


～一人一人が内なる“羅針盤”を持って～

突然の臨時休業措置から21日目となる3月23日を迎えました。

元気に過ごしていますか? 先生方の巡回訪問により、みんなの様子等を聞いています。

今回、生徒が出席しての修了式は実施できませんが、1年生228名、2年生217名の修了を認定しました。3月23日付けで私の名前で修了証書を作成しましたので、本日3月23日に私から学年主任の先生に修了証書を渡しました。教員だけの修了式を実施しました。4月6日の着任式、始業式、そして、入学式は実施する予定です。入学式は、卒業式と同じよう到来賓、在校生の出席はなしとし、規模を縮小しての実施となります。着任式、始業式も実施しますので、4月6日には、きみたちも新3年生、新2年生として登校することになります。その時に、担任の先生から修了証書と通知票を受け取ってください。そして、今回の学校だよりを修了式の「校長式辞」とします。私が体育館の壇上で読んでいることをイメージし、読んでみてください。



1、2年生のみんなにとって、令和元年度はどのような年であったでしょうか?

年度最後のこの節目に、この一年間の足跡を振り返ることは、とても重要な意味をもちます。

「襟を正す」という言葉があります。「襟を正す」という言葉には、「自己の乱れた衣服や姿勢を整える」そして、「それまでの態度を改めて、気持ちを引き締める」という意味があります。

この一年間で「このことは頑張れた」「この部分は成長した」と自分自身を認め、さらには褒めてあげられることは何でしょうか? また、「ここは自分の弱点で克服していかなければならない」といった自身の課題や改善点は何でしょうか?

こんな状況の中だからこそ、今、ここで、それらを自分なりによく整理してほしい。襟を正してほしいのです。そして、それらをもとに来年度の自分の目標やテーマを設定してください。

1・2年生のみんなは、上級学年へ進級することになります。

中学校の最大の目標は進路達成です。卒業生たちもほぼ100%進路先が決定しました。毎日の授業を通して、生活を通して、係活動を通して、部活動を通して、そして人とのつながりを通して、たくさんのエネルギーを吸収して、自分のものとしてほしい。それは成功体験でも、失敗体験でも…。それらが、やがて、これからの自分を良き方向へとコントロールする力となります。その拠り所となるのが、きみたち一人一人の『羅針盤』なのです。磁石の針が方角を指すことを利用して、船や飛行機の進路を測る器械のことを『羅針盤』と言います。自分の定めた進路目標に挑戦していく…先輩たちもみんな通った人生最初の大きな関門です。この大きな関門へのチャレンジはもうすでに始まっています。そのために、そして自分の『羅針盤』をもつために、何が大切なのか、考えてほしいことがあります。



幸せも不幸せも、喜びも悲しみも、苦痛も苦悩も、満足も不服も、誰かが外から自分にもたらす、そう思っているなら、それは大間違いです。一見そう見えるだけで、あらゆる思いや感情の大部分は、自分自身からやってくるのです。

「人」は決して一人では生きていけません。「人」は自分で「生きる」のと同時に、「生かされている」のです。家族、友達、先生など…自分のまわりにはたくさん人たちがいます。…これらの人々に「生かされている」自分に気付くことができるかどうか、それがとても重要なことだと思います。

我々大人を含め、目先のことにとらわれたり、自分しか見えなかったりして、「生かされている」自分に気付くことができている人がよくいます。

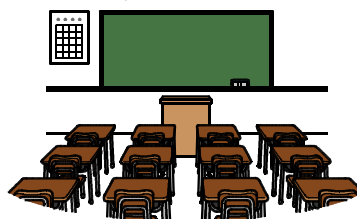
「生かされている」自分が自覚できる人こそ、他の人を大切にすることができ、支え合える「仲間」をもつことができるようになるのではないでしょうか。さらに、「生かされている」自分に気付けた人は、今という「時間」も、自分が今いる「居場所」(教室、学校など)も大切にできます。そして、真の意味で「自分」も大切にできるのです。そんな気持ちを持てる「人間」は、きっと自分の生き方に対しても、逃げることなくしっかりと向き合っていくことができるのだと思います。そのためにも、自分の進むべき道や自分がとるべき行動をしっかりとコントロールしてくれる『羅針盤』をつくってほしい。一人一人が内なる『羅針盤』をもってほしいと思います。

朝起きるのが遅くなっている人もいます。生活のリズムがくずれていると、学校が再開した後、苦しくなります。起床時間と就寝時間には気をつけ、規則正しい生活を心がけてください。くれぐれも、ゲーム漬け、スマホ依存の生活にはならぬよう注意してください。また、基本的に自宅で過ごしていると思いますが、運動不足やストレスを解消するための運動の機会を確保することも大切です。ジョギングや散歩、縄跳び等の日常的な運動を安全な環境の下で行うことは大丈夫です。ただし、一度に大人数が集まって人が密集する運動にはならないようにしてください。

まだ先が見えない状態が続きますが、もうすぐ新たなステージが始まります。良き伝統は継承しつつも、新たな校風づくりに努め、生徒、教職員がともに誇りを持つことができる学校を築き上げていきましょう。

真っ黒い ぞうきんで 顔はふけない
真っ白い ハンカチで 足はふけない
用途がちがうだけ 使命のとうとさに変わりはない
ハンカチよ 高ぶるな
ぞうきんよ ひがむな

(作：河野 進)



人間には、それぞれに役割が与えられます。どうか、それぞれが進み道で、それぞれが置かれた場所で、自分の役割を果たし、自分の花を精一杯に咲かせてください。でも、どうしても避けない時は、下へ下へと根を張るのであります。次に咲く花がより美しいものとなるために…。

令和2年度のみんなの頑張りと活躍に期待します。“富中PRIDE”

～令和元年度修了式 校長式辞～

保護者の皆様へ

今年度のご協力とご支援に感謝申し上げます

お子様のご進級おめでとうございます。

3月13日に行われました「第34回卒業証書授与式」は、幾つかの制限はありましたが、今、できることを最大限しよう、という想いで実施し、感動的な式となりました。ホームページでも紹介させていただきました。

213名の卒業生たちは、まわりの人たちへの感謝の気持ちをもって、凛とした姿で、ここ富田中を旅立ち、それぞれに力強い一歩を踏み出してくれました。たった二人の在校生代表として、二瓶柚乃さんが「送ることば」で先輩への感謝の気持ちを伝え、高橋彩葉さんが「旅立ちの日に」の伴奏を心を込めて演奏してくれました。星PTA会長にもご出席いただき、保護者代表として応援メッセージをいただきました。そして、今野虹典君が「別れのことば」を述べました。この「別れのことば」は、今野君、星大樹君、松本空さん、遠藤愛斗君、渡部陽夏乃さん5人の合作でした。この一人一人の想いを今野君が代表してみんなに伝えました。これらの原稿はすべて、ホームページに掲載しております。

さて、臨時休業措置がとられ、明日から学年末・学年始休業(春休み)となります。担任による巡回訪問、大変お世話になりました。前述しましたとおり、本日教員だけの修了式を行いました。現時点で4月6日は登校日となる予定です。その時に修了証書と通知票を渡します。まだ先が見えない不安な日々が続きます。どうか、お子様の規則正しい生活についてご配慮をお願いいたします。メールやホームページによる学校からの情報発信は継続してまいります。相談したいこと等がありましたら、遠慮なく連絡をしてください。

最後になりますが、今年度のPTA活動や部活動等でのご支援等、本校の教育活動に寄せていただきましたご理解とご協力に心より感謝申し上げます。そして、次年度におきましても変わらぬご支援をお願いいたします。

